

糸島市在住 Mさんの住まい

子どもたちがスクスク育つ 愛しきマイホーム

大切な子どもたちとママの笑顔を守るために、Mさんが決断したのは通勤に往復5時間がかかる糸島ライフ。結果、子どもたちもママもパパもみんな笑顔に!

子育てママの希望を叶える
運命の出会い

4歳と2歳の男の子2人を育てるMさん夫婦が家づくりを考えたのは、1年半くらい前のこと。それまでMさんの勤務先に近い北九州市内のマンションで暮らしていた4人だが、長男が小学校にあがる前に環境を整えたいと奥さまの実家の近くに引っ越ししてきた。「会社（北九州）と妻の実家（糸島）の間の宗像なんてどうかなと勧めてみたけれど、やっぱり妻の実家の近くがいいと糸島になりました。ええ、もちろん毎日通勤していますよ（笑）」と驚きの告白。家族が近いと何かと安心。ここから20

0メートル先には実家があり、170メートル離れたところに姉家族が住んでいるんですよ」と奥さまが続ける。

理想通りの土地を見つけてくれたのは、奥さまのお母様。まだ壳りに出る前、宅地造成中の土地を見て問い合わせした先がへいせいだつた。「さっそくモデルハウスの見学に行ってみると、雰囲気が良くてすぐに気に入りました！」と奥さま。そこから、家事動線や子どもたちの動きやすさにこだわった家づくりがスタート。家事をしながらでも子どもたちの様子がうかがえるような配置にこだわり、わんぱく盛りな男の子たちが家中をぐるぐる回遊できるようキッチンの向こうにも通り道をつくるなどの工夫を重ねた。もともと持ち物が多いという奥さまの希望は、キッチンの壁一面を収納スペースにすること。また、家族みんなと一緒に過ごすことが多いリビングを心地よくしたいと、天井を高くして木張りにしてもらうことで、木の温もりに包まれるキッチンダインニングが誕生した。4人で囲むテーブルは、大川の有名な家具屋さんのもの。まるであつらえたようにはぴったりと収まっている。「疑問に思ったことがあれば毎日のようにメールしていたので、へいせいの皆さんには大変だったかも知れません。でも、いつでも親身に対応していただけました」と奥さま。



アイランド風キッチンにこだわって大正解。ランプやタイル風のインテリアにもこだわった奥さまのお気に入りスペース



上、子どもたちは本が大好き。大きな窓から差し込む広々としたリビングでゆっくり読書の時間。／下、まるで格子のよう見える室内引戸がオシャレ。ゲストルームとして使用することも可能



家づくりの
お宅訪問
Interview with new house!

REPORT #00